

2) 車両

- 富山市内では平成9年度から平成16年度の間、24台、年間約3台の割合でノンステップバスが導入されています。

表 1-2-2 ノンステップバスの導入状況

	配置車両数 平成16年度	ノンステップバス年間導入台数 (平成9～16年度)	導入率
富山市	169台	24台 (3.0台/年)	14.2%



図 1-2-17 ノンステップ車両

3) バス停施設 (バスロケーションシステム)

- バスロケーションシステム(接近表示機)は、富山市内60箇所に計73基設置(平成19年3月現在)されていますが、20年以上前に設置されたバスロケーションシステムもあり、更新があまり進んでいない状況となっています。
- 運行本数が約1本/時の針原新町方面や米田すずかけ台方面はバスロケーションシステムが整備されていますが、運行本数の多い速星方面や開発方面は導入が進んでいません。

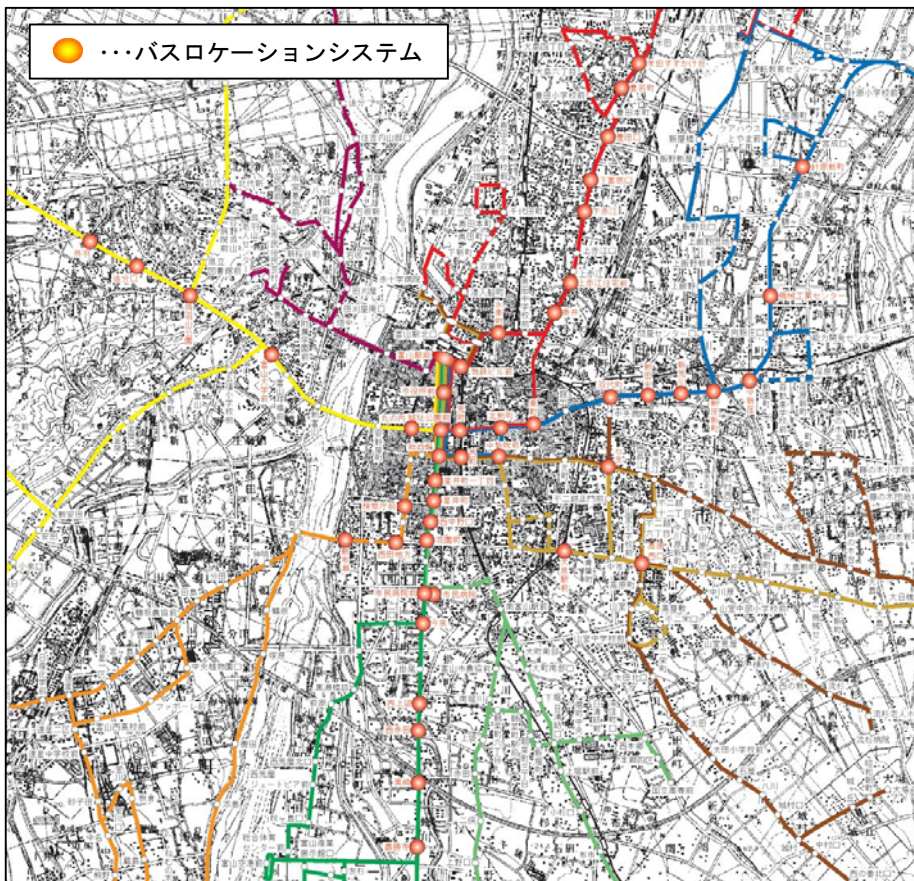


図 1-2-18 バスロケーションシステムの位置

4) 走行環境

- ・ 富山市のバスレーンは東部方面からの約 6.1km(国道 41 号など)と、南部方面からの約 6.5km(国道 41 号など)となっており、金沢市(約 24km)の半分の距離になっています。
- ・ 富山市は道路整備が進んでいることから、バス運行に大きな障害の出る路線が少ないと考えられます。

表 1-2-3 バス専用レーンの設置状況

道路名	区間	実施時期	距離	時間帯
国道 41 号 市道県庁線	蛭川－駅前東	S49. 09. 30～ S51. 09. 01	6, 550m	7 : 30～9 : 00 (日曜休日除く)
県道立山線	西町－堤町通り	S49. 09. 30	350m	
市道大泉線	堤町通り－北新町	S50. 11. 04	250m	
国道 41 号	北新町－金泉寺	S50. 11. 04～ S58. 04. 01	5, 480m	
計			12, 630m	

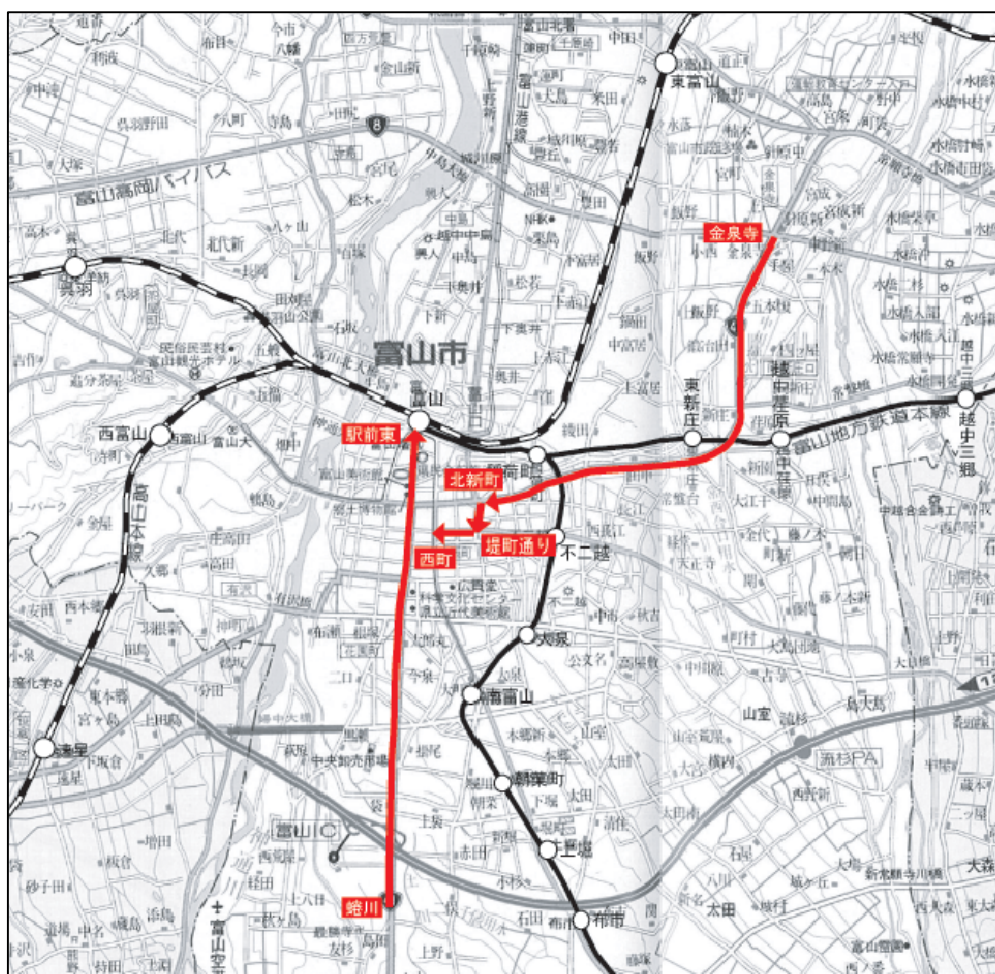


図 1-2-19 富山市内のバス専用レーン設置区間

3 公共交通網と結びつく歩行者・自転車交通環境

歩行者・自転車交通の概要

- ・ 総曲輪などの既成市街地及び富山駅周辺の都心部では、戦災復興事業等により幹線道路がほぼ完了し、広幅員の道路を主として歩道が設置されています。
- ・ 歩行者・自転車交通量の多い歩道では、歩行者と、自転車が混在しています。
- ・ 市街地の狭隘な車道では、歩行者、自転車と、車が混在しています。
- ・ 中心市街地の歩道は概ねバリアフリー化は完了していますが、ユニバーサルデザインの観点で不十分です。
- ・ 公共交通と自宅、公共交通と目的地などを結ぶ歩道の除雪が不十分です。



図 1-2-20 歩行者と自転車の混在



図 1-2-21 歩行者と車の混在



図 1-2-22 積雪時の状況